

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## 目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 .....	1
(1) 入学定員設定の考え方 .....	1
(2) 学生の確保の見通し .....	1
(3) 学生納付金の設定の考え方 .....	3
(4) 学生確保に向けた具体的な取組状況 .....	4
2. 人材需要の動向等社会の要請 .....	4
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） .....	4
(2) 上記が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的 な根拠 .....	5

## 資料目次

資料1	広島市立大学大学院平和学研究科（仮称）に関するアンケート調査結果
資料2	広島市立大学大学院平和学研究科設置に関するアンケート調査集計結果 （一般財団法人 日本開発構想研究所）
資料3	公立大学法人広島市立大学授業料等の減免に関する規程
資料4	広島市立大学長期履修学生規程

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### (1) 入学定員設定の考え方

平和学研究科平和学専攻は、国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる人材を養成することを目的とする。

そのために必要な研究基礎科目及び研究科開設科目の大部分は講義方式で行い、国際紛争及びグローバル問題の背景・要因を分析する手法を修得させるとともに、平和創造及び平和維持に貢献する能力を身に付けさせる。研究科開設科目のうち「平和学特殊演習Ⅰ～Ⅳ」については演習方式で行い、各学生の研究テーマの設定、研究計画の立案から論文作成に至るまで個別指導を行う。

このような教育課程を有効に機能させ、本研究科が目的として掲げる「養成する人材像」を輩出するために適正な入学定員について学内で慎重に検討を重ねた。また、社会人（本専攻が養成する人材像に掲げる公務員及びメディア関係者）の本専攻に対する入学意向を把握するため、広島平和研究所が主催する大学院生、公務員及びメディア関係者を対象とするセミナーにおいてアンケート調査を実施した。**資料1**その結果、「入学したい」と回答したのは1人、「機会があれば入学を検討したい」と回答したのは10人であり、合計すると11人が平和学研究科への入学に前向きな回答を示した。

	入学したい	機会があれば入学を検討したい	計
公務員 n = 14	1人 (7.1%)	7人 (50.0%)	8人 (57.1%)
メディア関係者 n = 5	0人 (0.0%)	3人 (60.0%)	3人 (60.0%)
合計	1人	10人	11人

下段の（ ）はそれぞれの回答者数に占める割合（％）。

アンケート調査の結果を踏まえ、本学に既存の資源を最大限有効活用することを前提に、新規採用を含む教員組織、施設整備及び学生納付金等の資金の面から検討し、入学定員10人（収容定員20人）、専任教員数15人と設定した。

#### (2) 学生の確保の見通し

平和学研究科に対する入学意向を把握するために、学部生及び事業所に対してアンケート調査を実施した。**資料2**

##### ① 平和学研究科への関心度

学部生アンケートでは、平和学研究科に「関心がある」と回答したのは33人（4.8%）、「少し関心がある」と回答したのは197人（28.6%）であり、合計す

ると 230 人 (33.4%) となることから、回答者の 3 分の 1 が平和学研究科の設置に関心を持っている。

社会人アンケートでは、平和学研究科に「関心がある」と回答したのは 5 人 (8.5%)、「少し関心がある」と回答したのは 28 人 (47.5%) であり、合計すると 33 人 (56.0%) となることから、回答者の半数以上が平和学研究科の設置に関心を持っている。

	関心がある	少し関心がある	計
学部生アンケート n = 689	33 人 (4.8%)	197 人 (28.6%)	230 人 (33.4%)
社会人アンケート n = 59	5 人 (8.5%)	28 人 (47.5%)	33 人 (56.0%)
合 計	38 人	225 人	263 人

下段の ( ) はそれぞれの回答者数に占める割合 (%)。

## ② 平和学研究科への進学意向

学部生アンケートでは、平和学研究科に「入学したい」と回答したのは 2 人 (0.3%)、「条件が整えば入学したい」と回答したのは 32 人 (4.6%) であり、合計すると 34 人 (4.9%) が平和学研究科への入学に前向きな回答を示している。特に、「条件が整えば入学したい」と回答した 32 人のうち 17 人は、平和学研究科開設年度 (平成 31 年度) に大学院入学対象となる大学 3 年生である。

また、「条件が整えば入学したい」と回答した回答者について、平和学研究科に入学するための条件を見ると (複数回答)、「学費の目途が立てば入学したい」が 16 人 (50.0%) で最も多く、「仕事との両立ができれば入学したい」及び「時間の確保ができれば入学したい」がいずれも 13 人 (40.6%) である。

社会人アンケートでは、平和学研究科に「入学したい」と回答した回答者は 0 人、「条件が整えば入学したい」と回答したのが 5 人 (8.5%) である。この 5 人の回答者について、平和学研究科に入学するための条件を見ると (複数回答)、「仕事との両立ができれば入学したい」及び「時間の確保ができれば入学したい」がいずれも 4 人 (80.0%) であり、「学費の目途が立てば入学したい」は 2 人 (40.0%) である。

「学費の目途が立てば入学したい」と回答した回答者に関しては、奨学金制度や学生寮といった経済的支援を行い、「仕事との両立ができれば入学したい」と回答した回答者に関しては長期履修制度により研究と仕事を両立しやすい環境を整備していることから、そうした措置により入学する可能性がより高くなることが期待できる。

	入学したい	条件が整えば入学したい	計
学部生アンケート n = 689	2人 (0.3%)	32人 (4.6%)	34人 (4.9%)
社会人アンケート n = 59	0人 (0.0%)	5人 (8.5%)	5人 (8.5%)
合 計	2人	37人	39人

下段の（ ）はそれぞれの回答者数に占める割合（％）。

	学費の目途が立てば入学したい	仕事との両立ができれば入学したい	時間の確保ができれば入学したい
学部生アンケート n = 32	16人 (50.0%)	13人 (40.6%)	13人 (40.6%)
社会人アンケート n = 5	2人 (40.0%)	4人 (80.0%)	4人 (80.0%)
合 計	18人	17人	17人

下段の（ ）はそれぞれの回答者数に占める割合（％）。

平和学研究科への入学意向について、「入学したい」と回答したのは2人であり、このうち1人は大学1年生であることから、今回のアンケート調査の回答者については1人の入学は期待できる。

また、学部生では大学3年生を中心に「条件が整えば入学したい」と回答した回答者が32人おり、社会人では5人であった。これら37人については、平和学研究科への入学について前向きな考えを持っていると考えられ、潜在的な進学需要と捉えることができる。入学にあたってクリアすべき条件はあるものの、平和学研究科の入学定員10人の3.7倍にあたる人数であることから、10人程度の入学志願者が出てくる可能性はある。

以上の調査結果に加えて、調査対象以外からの進学も考えられることから、平和学研究科平和学専攻（修士課程）の入学定員を満たす学生は確保できるものと考ええる。

### (3) 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、国立大学に準じて、年間授業料を535,800円、入学料を282,000円に設定している。ただし、広島市が設置した大学であることから、広島市の区域内に住所を有していない者（市外の者）の入学料については、1.5倍した額の423,000円としている。

なお、授業料及び入学料の額並びに市外の者の取扱いは大学院生・学部生とも同じである。

#### (4) 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けては、市立大学ウェブサイトへの研究科の情報の掲載、平和研究所の各種セミナー、シンポジウム等のイベントにおけるリーフレットの配布、ニューズレター等の平和研究所刊行物への紹介記事の掲載等の広報活動を積極的に実施する。

学生に対する経済的支援としては、経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学生に対する授業料の減免等の制度を設けている[資料3]。また、日本学生支援機構の奨学金のほか、地方公共団体奨学金及び民間企業等の出資による民間団体奨学金などの多様な奨学金制度も充実しており、費用の面から学生を支援することが可能である。さらに平成30年4月に新設した国際学生寮は大学院生も、国際交流や留学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生であれば、自宅の所在地や経済状況は問わず入寮可能となっている。

社会人学生に対しては、入学後の申請により長期履修学生として認められた場合は、正規の修業年限と同じ授業料で、修業年限を延長して入学時から3年又は4年で計画的に教育課程を履修することができるようになる長期履修制度を設け、社会人が研究と仕事を両立しやすい環境を整備している。[資料4]

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学が建学の基本理念として掲げた「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という言葉には、科学・文化の発展と恒久平和を希求する「国際平和文化都市」としての広島市の平和理念と、公立大学としての地域貢献への期待が込められている。

本研究科は、平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論の関連する専門領域の分析手法を修得し、その上で、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成することにより、平和創造及び平和維持に貢献することを目的としている。

具体的には、国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる以下のような人材の養成を行うものである。

- ①国際関係の仕組み及び政治・ガバナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者
- ②平和創造及び平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、及び公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員
- ③今日の国際紛争及びグローバル問題など様々な事象を鋭くかつ科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点からアイデアを発信する力を有するジャーナリスト及びマスメディア専門家

(2) 上記が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

平和学研究科修士課程修了性に対する採用意向を把握するために、事業所に対してアンケート調査を実施した。資料2

① 平和学研究科設置の必要性

平和学研究科の設置について「必要性を感じる」と回答したのは7事業所(63.6%)、「少し必要性を感じる」と回答したのは4事業所(36.4%)であり、すべての事業所が平和学研究の設置の必要性を認めている。

② 平和学研究科で養成する人材像への関心度

平和学研究科で養成する人材像に対する関心度では、「平和創造に関する研究成果を発信できる人材」に対して回答のあった11事業所中8事業所が関心を示し(「関心がある」と「少し関心がある」の合計)、「平和創造に関する国内外の国際公共政策を企画・立案できる人材および平和行政を推進できる人材」に対しては11事業中11事業所、「平和創造に関する分析視点・手立てを発信・提言できる人材」に対しては11事業所中10事業所が関心を示している。

③ 平和学研究科を修了した人材への採用意向

「採用したい」と回答したのは1事業所(9.1%)、「採用を検討したい」と回答したのは4事業所(36.4%)であり、回答のあった11事業所の半分近くが採用に前向きな回答をしている。

以上のとおり、回答のあった11事業所のすべてが平和学研究科の必要性を認めており、また、平和学研究科で養成する人材像に対する関心度も高く、平和学研究科に対する社会的需要は高いと考えられる。

また、平和学研究科修了生に対する採用意向についても、5事業所が採用に前向きな回答を示している。今回のアンケート調査は11事業所という極めて限られた数であることを考えると、実際の採用については入学定員10人を超える数は期待できると考えられる。

## 広島市立大学大学院平和学研究科（仮称）に関するアンケート調査結果集計

調査実施日：平成 28 年（2016 年）8 月 28 日

調査対象者：「ヒロシマ平和セミナー2016」受講者 27 名

問 1. 現在のご職業等をお教えてください。		
ア	大学院生	8
イ	メディア関係者	5
ウ	公務員	14

問 2. (大学院生への質問) あなたがこれから大学院に進学予定であると仮定したら、本学が設置予定の平和学研究科は進学の対象となりますか。		
ア	是非、進学先として検討したい。	2
イ	進学先の一つとして検討したい。	5
ウ	進学先の対象にはならない。	1

問 3. (メディア関係者・公務員への質問) 本学が設置予定の平和学研究科に入学を希望しますか。				
		メディア	公務員	合計
ア	是非、入学したい。	0	1	1
イ	現時点では未定だが、将来、機会があれば入学を検討したい。	3	7	10
ウ	入学を希望しない。	2	6	8

問 4. 平和学研究科への進学・入学を検討するにあたって、どのような項目を重視しますか。 (複数回答可)					
		大学院生	メディア	公務員	合計
ア	教授陣と研究環境	6	2	4	12
イ	研究科で教授される学問領域と自分の関心の合致	7	2	6	15
ウ	授業料減免や奨学金制度	2	1	3	6
エ	授業の夜間開講	0	0	3	3
オ	被爆地広島にある大学の平和学研究科	1	4	2	7
カ	(大学院生の場合) 修了後の進路	2	0	0	2
キ	(職業人の場合) 仕事との両立	1	2	6	9
ク	その他	0	0	3	3
	・教員がいかに学生と向き合ってくれるか。学生を取るだけで、教員は自分の研究ばかり(学生を自分の助手のような扱い)という大学もあると伺っていますので。[公務員]				
	・家庭との両立[公務員]				
	・自身の組織からの支援。(研修制度を利用した入学制度があればありがたい。)[公務員]				

問5. 進学・入学を希望されない理由は何でしょうか。(自由記述)
・他の対象にはない明確なメリット(特徴、固有性)が分からないから。[大学院生]
・入学を希望したい気持ちがありますが、現実的に現在の仕事の状況を考えると入学は難しいです。ただ、もし会社が入学を許可してくれて仕事と両立できる環境であれば、ぜひ入学したいです。[メディア関係者]
・仕事との両立は難しい。[メディア関係者]
・職場・自宅が遠隔地のため。[公務員]
・時間の制約上、困難です。[公務員]
・仕事の都合上、入学は難しいですが設置そのものは素晴らしい取り組みだと思いました。[公務員]
・仕事との両立は難しいと考えるため。[公務員]
・経済的な問題、仕事との両立。[公務員]
・広島にわざわざ来るメリットがあるのか。東京の講師陣の方が充実しているのではないのか?という懸念。[大学院生]

問6. 平和学研究科に関するご意見・ご要望をお書きください。(自由記述)
・ジャーナリズムプログラムで、例えば海外の報道機関で実際に働くというような内容があれば理想だと思います。最前線でジャーナリストとして情報を発信している方々から話を聞いたり、ジャーナリズムの歴史を学ぶことも重要だと思いますが、足を運んで現地の声をきくことが最も重要であると思うので、市立大また平和研究所のネットワークを使って、報道機関で働く経験ができたるとても効果的な取り組みになると思います。[メディア関係者]
・貴重な存在だと思います。[公務員]
・日本の大学における「平和学: Peace Study」はまだまだ未発展だと思います。ぜひ、イニシアティブを取って、平和学の学問的発展に貢献していただきたいと思います。[大学院生]
・ジャーナリズムプログラムは良いと思う。ぜひ進学したいと思える。[大学院生]
・大学院生という立場からしますと、やはり(教授陣を含めた)研究環境が重要だと思います。具体的には、「この方の下で勉強したい」と思える先生がおられるかどうか、また「この文献が読みたい」と思った時に、その文献がすぐ手に入るかどうか(図書館の充実)といったところかと思えます。[大学院生]
・図書館の蔵書数を重視していただきたいです。[大学院生]
・フィールドワークが必要な研究の場合、そのフォロー、そして、インターンなどについても充実してもらえると嬉しいです。[大学院生]
・開設される際には、国際政治に詳しい教授だけでなく、実際に戦争や紛争を体験した方を集めた市民レベルの講義をお願いしたい。[公務員]
・広島市立大学では、国際学部があり、平和学の修士号が取得できると聞いています。国際学部と平和学研究科の差異はあるのでしょうか?また、研究科のみの設置であれば、他大学からの入学を期待していると思われますが、入学生の確保はできるのでしょうか。また、現役の院生であれば、就職の問題があります。大学での就職サポートがあるのか気になります。[公務員]
・サテライト授業が関東、自宅で受けることができるのであれば、また単発でも受けることができるのであればぜひ参加したいです。[公務員]
・裏に書かれた国際公共政策プログラムに期待します! [公務員]
・広島の研究所として核軍縮の視点も存分に組み込んでいただきたいです。[公務員]

**《アンケートのお願い》**  
**広島市立大学大学院平和学研究科（仮称）に関するアンケート調査**  
広島市立大学平和学研究科設置委員会

広島市立大学では、大学院平和学研究科（仮称）の平成31年4月開設を目指して準備を進めています。そこで、本研究科に対する関心や、将来のキャリアアップを目指した選択肢としての本研究科への入学についてアンケートを実施し、研究科設置の参考にさせていただきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。（裏面に本研究科の説明があります。）

問1. 現在のご職業等をお教えてください。（○で囲んでください。）

- ア 大学院生 ⇒問2へ
- イ メディア関係者 ⇒問3へ
- ウ 公務員 ⇒問3へ

問2. あなたがこれから大学院に進学予定であると仮定したら、本学が設置予定の平和学研究科は進学の対象となりますか。（一つだけ選んで○で囲んでください。）

- ア 是非、進学先として検討したい。⇒問4へ
- イ 進学先の一つとして検討したい。⇒問4へ
- ウ 進学先の対象にはならない。⇒問5へ

問3. 本学が設置予定の平和学研究科に入学を希望しますか。（一つだけ選んで○で囲んでください。）

- ア 是非、入学したい。⇒問4へ
- イ 現時点では未定だが、将来、機会があれば入学を検討したい。⇒問4へ
- ウ 入学を希望しない。⇒問5へ

問4. 平和学研究科への進学・入学を検討するにあたって、どのような項目を重視しますか。（複数回答可）

- ア 教授陣と研究環境
- イ 研究科で教授される学問領域と自分の関心の合致
- ウ 授業料減免や奨学金制度
- エ 授業の夜間開講
- オ 被爆地広島にある大学の平和学研究科
- カ （大学院生の場合）修了後の進路
- キ （職業人の場合）仕事との両立
- ク その他（具体的に

回答後は問6へ

問5. 進学・入学を希望されない理由は何でしょうか。（自由記述）


問6. 平和学研究科に関するご意見・ご要望をお書きください。（自由記述）


\*\*アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*

## 広島市立大学大学院平和学研究科（仮称）の概要

- 1 名称：平和学研究科 平和学専攻（博士前期課程）
- 2 学位：修士（平和学）
- 3 開設予定年月日：平成 31 年 4 月 1 日
- 4 設置の理念：  
歴史的な意味合いを持つ広島という地に開かれる平和学研究科として、平和とは何か、誰のための平和かという平和主義の原点に立ち返りながら、平和創造に真に貢献する人材を輩出することが本研究科の目的です。平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論などの関連する専門領域の分析手法を習得し、専門的及び総合的な見地から国際社会における諸問題の解決に資する、高度な知識と分析能力を培います。
- 5 養成する人材像：  
平和創造、平和構築といった最新の分析手法を習得し、実践的に平和創造への課題解決に取り組むことのできる、平和学及び国際問題に精通した人材の育成を目指します。
- 6 検討中のコース設定：
  - 研究者コース（仮称）  
平和創造に向けて研究成果を発信できるような高度な基礎理論を身につけた研究者を養成します。
  - 専修コース（仮称）
    - ・国際公共政策プログラム（仮称）  
平和創造に向けた公共政策の策定に貢献していくことができる者を養成します。
    - ・ジャーナリズムプログラム（仮称）  
平和への脅威、平和創造、平和構築といったグローバル・イシューを読み解き、市民社会や国際世論に向けて発信する専門的知識を有する者を養成します。
- \* 博士前期課程の設置認可後、博士後期課程を設置認可申請する予定です。
- 7 設置場所：広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号 広島市立大学内

（現在設置構想中のため、変更になることがあります。）

広島市立大学大学院平和学研究科設置に  
関するアンケート調査

集 計 結 果

平成 30 年 3 月

一般財団法人 日本開発構想研究所



## 目 次

<アンケート調査概要> .....	1
① 学部生アンケート .....	3
<平和学研究科入学意向> .....	5
<アンケート調査票> .....	7
<アンケート集計結果> .....	11
② 事業所アンケート：社会人入学意向 .....	25
<平和学研究科入学意向> .....	27
<アンケート調査票> .....	29
<アンケート集計結果> .....	33
② 事業所アンケート：事業所採用意向 .....	41
<平和学研究科修了者採用意向> .....	43
<アンケート調査票> .....	45
<アンケート集計結果> .....	49



## ＜アンケート調査概要＞

### 1. アンケート調査の目的

2019年（平成31年）4月の開設を目指す公立大学法人広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程（以下、「平和学研究科」という。）に関して、大学学部生等の入学意向等を把握するために、政治学等の平和学関連分野を専攻している学部学生を対象にアンケート調査を実施した。また、平和学研究科の教育研究対象と関連する分野において事業を営む事業所等に対して、職員等の平和学研究科への入学意向等を把握するとともに、平和学研究科修了者に対する事業所としての採用意向等について把握するために、アンケート調査を実施した。

### 2. 実施アンケート

#### ① 学部生アンケート

「広島市立大学大学院平和学研究科設置に関するアンケート調査」

#### ② 事業所アンケート：社会人入学意向

「広島市立大学大学院平和学研究科設置に関するアンケート調査」

#### ③ 事業所アンケート：事業所採用意向

「広島市立大学大学院平和学研究科設置に関するアンケート調査」

### 3. 調査対象

#### ① 学部生アンケート

政治学等の平和学関連分野を研究領域とする45大学所属の大学教員（74名）が指導する学部学生を対象に、アンケート調査を実施した。（回収表はP.13～P.14を参照）

#### ②及び③ 事業所アンケート

平和学研究科の教育研究対象と関連する事業所として、主に広島県所在（島根県、山口県、東京都を含む）のマスコミ関係企業、国際交流団体、シンクタンク・コンサルタント、独立行政法人・非営利団体等（広島県、東京都、千葉県、埼玉県、大阪府、兵庫県）を対象に、アンケート調査を実施した。（回収表は、社会人入学意向 P.31～P.32（事業所数は66件だが、1件事業所を構えていない為、アンケート依頼数は65件）、事業所採用意向 P.47（依頼事業所数は52件）を参照）

#### 4. 実施時期

- ① 学部生アンケート：平成 30 年 1 月～2 月に調査を実施した。
- ②及び③ 事業所アンケート：平成 30 年 2 月～3 月に調査を実施した。

#### 5. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布・回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

#### 6. 回収状況

- ① 学部生アンケート：回収数 29 件 689 票（回収状況は P. 14 を参照）
- ② 事業所（社会人入学意向）アンケート：回収数 17 件 59 票（回収状況は P. 32 を参照）
- ③ 事業所（事業所採用意向）アンケート：回収数 11 件（回収状況は P. 47 を参照）

## ① 学部生アンケート



## <平和学研究科入学意向>

学部生アンケートによる平和学研究科への入学意向について、実数での回答は以下の通り。

問5 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程への入学について、どのようにお考えですか。	実数
1 入学したい	2人
2 条件が整えば入学したい	32人
計	34人

[担当教員ごとの結果] 回答のあった大学29件(大学所属記載、教員氏名略)

(単位:人)

	1 入学したい	2 条件が整えば 入学したい	計
全 体	2	32	34
1 京都大学 法学研究科	-	-	-
6 琉球大学 法文学部総合社会システム学科	-	2	2
9 南山大学 法学部法律学科	-	-	-
10 同志社大学 法学部法律学科	-	-	-
12 早稲田大学 社会科学部	1	4	5
14 立教大学 法学部政治学科	-	1	1
17 大阪大学 国際公共政策研究科国際公共政策専攻	-	-	-
21 一橋大学 法学研究科	-	-	-
28 上智大学 文学部新聞学科	-	7	7
29 上智大学 法学部国際関係法学科	-	1	1
32 立命館大学 国際関係学部国際関係学科	-	1	1
34 神奈川大学 法務研究科法務専攻	-	-	-
41 長崎大学 経済学部経済協力・国際コミュニケーション講座	-	-	-
42 広島修道大学 法学部	-	1	1
44 神戸学院大学 法学部法律学科	-	1	1
45 京都産業大学 外国語学部	-	-	-
46 筑波大学 人文社会系	-	-	-
49 京都女子大学 現代社会学部現代社会学科	-	-	-
50 京都女子大学 現代社会学部現代社会学科	-	2	2
53 東京外国語大学 現代アフリカ地域研究センター	-	-	-
56 横浜市立大学 国際総合科学群人文社会科学系列	-	-	-
58 広島大学 国際協力研究科平和共生講座	-	-	-
59 広島大学 総合科学研究科社会文明研究講座	-	2	2
60 広島大学 社会科学研究科政策動態講座	-	1	1
61 関西学院大学 法学部政治学科	-	1	1
63 宇都宮大学 国際学部国際学科	-	2	2
68 北九州市立大学 外国語学部国際関係学科	-	-	-
69 埼玉大学 人文社会科学部研究科	-	3	3
74 広島市立大学	1	3	4



<アンケート調査票>



## 広島市立大学大学院平和学研究科設置に関するアンケート調査

広島市立大学では、広島市の使命である核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて実践的なアイデアを発信し、さらなる学術的な貢献を果たすために、大学院に平和学研究科を設置する計画を進めています。

このアンケート調査は、平和学研究科に対する皆様のご意見等をお聞きし、平和学研究科の設置の基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。率直なご意見をお尋ねします。

- ・回答欄に、該当する番号を記入してください。
- ・「その他」の選択肢を選んだ場合は、( ) に具体的に記入してください。

【回答欄】

問1 あなたの職業等をお答えください。

- |         |               |                      |
|---------|---------------|----------------------|
| 1 大学1年生 | 5 メディア関係      | <input type="text"/> |
| 2 大学2年生 | 6 NGO・NPO職員   |                      |
| 3 大学3年生 | 7 公務員         |                      |
| 4 大学4年生 | 8 その他 (具体的に ) |                      |

問2 あなたは、現在従事している業務や将来従事したい業務に関して、大学院修士課程で学修する必要性を感じますか。

- |             |            |                      |
|-------------|------------|----------------------|
| 1 必要性を感じる   | 3 必要性を感じない | <input type="text"/> |
| 2 少し必要性を感じる | 4 わからない    |                      |

問3 あなたは大学院修士課程への進学に関心がありますか。

- |         |           |         |                      |
|---------|-----------|---------|----------------------|
| 1 関心がある | 2 少し関心がある | 3 関心はない | <input type="text"/> |
|---------|-----------|---------|----------------------|

問4 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程に関心がありますか。

- |         |           |         |                      |
|---------|-----------|---------|----------------------|
| 1 関心がある | 2 少し関心がある | 3 関心はない | <input type="text"/> |
|---------|-----------|---------|----------------------|

問5 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程への入学について、どのようにお考えですか。

- |               |                          |                      |
|---------------|--------------------------|----------------------|
| 1 入学したい       | 3 関心はあるがわからない (今は判断できない) | <input type="text"/> |
| 2 条件が整えば入学したい | 4 入学を希望しない               |                      |

問6 問5で「2 条件が整えば入学したい」と回答した方に伺います。それ以外の方は問7へお進みください。どのような条件が整えば入学したいとお考えですか。(複数回答可)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 学費の目途が立てば入学したい   | <input type="text"/> |
| 2 仕事との両立ができれば入学したい |                      |
| 3 時間の確保ができれば入学したい  |                      |
| 4 その他 (具体的に )      |                      |

問7 広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

\*\*\* これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*



<アンケート集計結果>



学部生アンケート調査 回収表

回収日	No.	大学名	所 属	ナンバリング		回収数
1. 26	1	京都大学	法学研究科	201	223	23
	2	京都大学	人間・環境学研究科			
	3	東京大学	法学政治学研究科			
	4	千葉大学	社会科学研究院			
	5	琉球大学	法文学部総合社会システム学科			
2. 02	6	琉球大学	法文学部総合社会システム学科	383	495	113
	7	南山大学	総合政策学部総合政策学科			
	8	南山大学	外国語学部英米学科			
2. 16	9	南山大学	法学部法律学科	643	657	15
1. 19	10	同志社大学	法学部法律学科	31	42	12
	11	同志社大学	法学部政治学科			
1. 19	12	早稲田大学	社会科学部	1	30	30
	13	早稲田大学	政治経済学部			
1. 29	14	立教大学	法学部政治学科	224	234	11
	15	立教大学	社会学部社会学科			
	16	青山学院大学	国際政治経済学部国際政治学科			
2. 13	17	大阪大学	国際公共政策研究科国際公共政策専攻	604	605	2
	18	大阪大学	国際公共政策研究科国際公共政策専攻			
	19	慶應義塾大学	総合政策学部総合政策学科			
実施不可	20	慶應義塾大学	法務研究科法務専攻			
2. 13	21	一橋大学	法学研究科	606	606	1
	22	一橋大学	法学研究科			
	23	一橋大学	法学研究科			
実施不可	24	上智大学	総合グローバル学部総合グローバル学科			
	25	上智大学	総合グローバル学部総合グローバル学科			
	26	上智大学	総合グローバル学部総合グローバル学科			
	27	上智大学	総合グローバル学部総合グローバル学科			
2. 14	28	上智大学	文学部新聞学科	607	633	27
1. 23	29	上智大学	法学部国際関係法学科	72	87	16
	30	群馬大学	国際センター			
	31	立命館大学	国際関係学部国際関係学科			
1. 22	32	立命館大学	国際関係学部国際関係学科	88	95	8
	33	立命館大学	政策科学部政策科学科			
1. 29	34	神奈川大学	法務研究科法務専攻	254	267	14
	35	関西大学	政策創造学部政策学科			
	36	名古屋大学	法学研究科総合法政専攻			
	37	名古屋大学	情報学研究科附属グローバルメディア研究センター			
	38	明治学院大学	国際学部国際学科			
	39	聖心女子大学	文学部国際交流学科			
	40	山口県立大学	国際文化学部国際文化学科			
2. 14	41	長崎大学	経済学部経済協力・国際コミュニケーション講座	634	642	9

回収日	No.	大学名	所 属	ナンバリング		回収数
1. 22	42	広島修道大学	法学部	117	142	26
	43	広島修道大学	法学部			
1. 22	44	神戸学院大学	法学部法律学科	143	171	29
1. 22	45	京都産業大学	外国語学部	96	112	17
2. 19	46	筑波大学	人文社会系	672	682	11
	47	防衛大学校	総合教育群外国語教育室			
実施不可	48	防衛大学校	人文社会科学群国際関係学科			
2. 05	49	京都女子大学	現代社会学部現代社会学科	545	556	12
1. 24	50	京都女子大学	現代社会学部現代社会学科	43	71	29
	51	中央大学	文学部			
	52	中央大学	法務研究科			
2. 16	53	東京外国語大学	現代アフリカ地域研究センター	658	671	14
	54	東京外国語大学	総合国際学研究院			
	55	静岡県立大学	国際関係学研究科			
2. 05	56	横浜国立大学	国際総合科学群人文社会科学系列	557	577	21
	57	広島大学	国際協力研究科平和共生講座			
2. 02	58	広島大学	国際協力研究科平和共生講座	496	513	18
2. 07	59	広島大学	総合科学研究科社会文明研究講座	578	603	26
2. 02	60	広島大学	社会科学研究科政策動態講座	514	524	11
1. 22	61	関西学院大学	法学部政治学科	113	116	4
	62	関西学院大学	国際学部国際学科			
1. 26	63	宇都宮大学	国際学部国際学科	172	200	29
	64	専修大学	法学部			
	65	成蹊大学	法学部政治学科			
	66	成蹊大学	法学部政治学科			
	67	東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部			
1. 29	68	北九州市立大学	外国語学部国際関係学科	235	253	19
2. 02	69	埼玉大学	人文社会科学研究科	525	544	20
2. 23		(追加)		683	689	7
	70	新潟国際情報大学	国際学部国際文化学科			
	71	津田塾大学	総合政策学部総合政策学科			
	72	武蔵野大学	法学部政治学科			
	73	徳島大学	総合科学部			
1. 29	74	広島市立大学		268	382	115
計 29 件				計		689

#### 回収状況

回収件数	回収票数	依頼件数	実施不可
29 件	689 票	74 件	3 件

学部生アンケート調査 集計表

[有効回答票：689 票]

問1 あなたの職業等をお答えください。

	人数	%
1 大学1年生	184	26.7
2 大学2年生	189	27.4
3 大学3年生	192	27.9
4 大学4年生	100	14.5
5 メディア関係	1	0.1
6 NGO・NPO職員	1	0.1
7 公務員	2	0.3
8 その他	20	2.9
N (%ベース)	689	100.0

(「8 その他」の回答)

経営者	大学教員	大学院1年生
大学院	大学教員	大学院1年生
大学院研究生	教員	大学院2年生
大学院修1	院生1年	大学院生
ピースボランティア	大学教員	大学院1年生
大学院1年目	職員	博士後期課程

問2 あなたは、現在従事している業務や将来従事したい業務に関して、大学院修士課程で学修する必要性を感じますか。

	人数	%
1 必要性を感じる	106	15.4
2 少し必要性を感じる	198	28.7
3 必要性を感じない	221	32.1
4 わからない	164	23.8
N (% <sup>^</sup> -ス)	689	100.0

問3 あなたは大学院修士課程への進学に関心がありますか。

	人数	%
1 関心がある	126	18.3
2 少し関心がある	237	34.4
3 関心はない	326	47.3
N (% <sup>^</sup> -ス)	689	100.0

問4 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程に関心がありますか。

	人数	%
1 関心がある	33	4.8
2 少し関心がある	197	28.6
3 関心はない	456	66.2
不明	3	0.4
N (% <sup>^</sup> -ス)	689	100.0

問5 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程への入学について、  
 どのようにお考えですか。

	人数	%
1 入学したい	2	0.3
2 条件が整えば入学したい	32	4.6
3 関心はあるがわからない（今は判断できない）	201	29.2
4 入学を希望しない	453	65.7
不明	1	0.1
N (% <sup>^</sup> - $\lambda$ )	689	100.0

問6 問5で「2 条件が整えば入学したい」と回答した方に伺います。それ以外の方は  
 問7へお進みください。どのような条件が整えば入学したいとお考えですか。（複数  
 回答可）

	人数	%
1 学費の目途が立てば入学したい	16	50.0
2 仕事との両立ができれば入学したい	13	40.6
3 時間の確保ができれば入学したい	13	40.6
4 その他	1	3.1
不明	2	6.3
N (% <sup>^</sup> - $\lambda$ )	32	100.0

※ 複数回答のため、合計は100%にならない

（「4 その他」の回答）

興味が一致すれば
----------

問7 広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

既に修士号を取得している人は、関連する科目の単位を算入できるようにしていただけると入学希望者が増えると思います。	その他
東京在住なので、通信制のプログラムを作ってほしい。	公務員
まだあまり分からないので様々な情報をインターネットを通じて知りたいです。	大学3年生
就職が決まっています！	大学4年生
特にグローバル・リージョナル・ガバナンス科目に興味がある。	大学3年生
カリキュラムに魅力を感じた。	大学3年生
広島市内者と市外者の入学料の差が目にとまった。	大学3年生
ノーベル平和賞を授与できるよう頑張ってください。	大学3年生
平和学研究科について、初めて聞いた学科でこれからはがんばってほしいと思った。	大学3年生
就職サポートをどのように行うのが気になりました。	大学3年生
平和創造の研究成果を世界へ発信し、平和が構築されればいいと思います。	大学3年生
興味深いです。	大学3年生
私は大学院に行く予定はないですが、国際関係学科の者として内容が興味深いと思いました。	大学3年生
もう少し幅広く、具体的なカリキュラムを作ることが必要であると思います。	大学4年生
原子爆弾について、近年注目が集まっている中で、こういった平和について研究できる場所ができるのは素晴らしいことだと思います。期待しております。	大学4年生
日本の平和を願っています。	大学3年生
英語での授業があれば良いと思う。	大学3年生
広島に弊社研究所が出来るということで、沖縄出身だから沖縄の大学もあるのかなと思った。	大学3年生
とても素晴らしい試みだと思いました。入学する、しない関係なく、注目していきたいと思います。公開授業かセミナー、シンポジウムがあれば是非足を運んでみたいです。	大学2年生
平和学について学ぶことのできる大学は少ないので興味深く感じるが、地理的な条件で入学は厳しいと思います。	大学4年生
やはり唯一の被爆国のひとつとして、平和学について深く考えることはすごくいいことだと思います。	大学4年生
奨学金制度等の経済的援助制度の拡充、修士修了後の博士課程又その後の身分保障について。	大学2年生
歴史学や国際関係学とどういう関係があるのか？副専攻では不十分ということか？留学生受入れなど人的交流の可能性は大きそう。	その他
新たな学問分野を切り開く素晴らしい試みだと思います。	大学2年生
広島の地で平和を修めることには非常に大きな意味があると思います。ただ、市立大学という性質上やむをえないと思いますが、市外の方にこそ援助を行い、さらに平和を修める人を増やすべきではないでしょうか。	大学4年生
良いと思う。	大学2年生
自分とは少し距離がある分野ですのですいません。	大学2年生
広親は平和学が有名？栄？な印象がありましたので、大学院がないことはおどろきでした。	大学4年生

広島“らしさ”があって、希望する学生は一定数いると思います。	大学4年生
平和学という学問が何なのか、世の中に広まると、貴学への入学希望者も増えると思いました。	大学4年生
大学院自体に進む気がそもそもない。しかし、学ぶ内容には興味がある。院という場だけでなく大学でも学べたらと思う。	大学2年生
今からの時代、これらの学びは非常に重要だと思います。	その他
広島大学、広島経済大学、広島修道大学など他大学の研究機関と関わりをもてる環境になってほしい。たとえば単位互換制度や、共同研究など。また海外の平和学系の大学との提携校をつくって、海外留学しやすい環境にしてほしい。平和と町おこし、平和と芸術についての勉強分野をつくってほしい。	大学3年生
情報・芸術学部の学生でも入学は可能なのですか。	大学1年生
もし仮に、この課程を学修しても、就職にどのように役立つのか分からない。	大学1年生
“広島平和学”以外も重視していることをアピールすべき。	大学1年生
北朝鮮外交と核問題に関することに関心がある。	大学1年生
具体的に何を研究するのかわからない。	大学1年生
入学を希望します。	大学2年生
広島での学習内容を詳しく知りたいです。	その他
国際関係の学科もそれ自体が平和の理論を考えていく学科であると思うが、平和学科はそれとちがうのか。政策系、国際系の安全保障、紛争をピックアップして研究していくところなのですか？	大学3年生
時代に合った面白い勉強だと思った。学ぶ意義をもてそう。	大学3年生
私は今年の四月から、大学院に進学するが、魅力的な内容の大学院が多くあることを知っているの、その大学院同士の交流がどの程度あるのかを知りたいし、それが入学を選ぶ理由になる。	大学4年生
恒久平和の創造に関するアイデアとその実現方法を発信するだけでなく、行動する主体になることを目的にしたほうが良いのではないかと感じた。	大学3年生
とても興味深いカリキュラムです。広島だからこそ、今の時代だからこそその内容ですね。公立大学なのでこのような設定になるのは仕方ないと思いますが、入学金が40万を超えるというのはやはり厳しいなと感じました。	大学3年生
すごく大切な研究分野だと思います。ぜひ、より先進的で、より実践的な研究が広く行われることを願っています。	大学2年生
すごく興味あります。平和を作るための教育？、平和教育について学んでみたいです。	大学2年生
入学金が広島市内外者で約10万円の差がありますが、市外者が入学しやすいようにあまり差をつけないほうが良いのではないかと思います。	大学3年生
大学院まで行き平和に学ぶ事で、自分の将来に役に立つのかどうか分からない。	大学3年生
広島市立大学大学院にこのような平和に関する研究科を作る計画があるとは初めて知りました。でも、広島だからこそ学べると思うのですごくよいと思います。	大学1年生
学問としての平和ではなく実践的に活動できるものになることを願っています。	大学2年生
現在、広島市立大には国際学研究科がありますが、具体的な差別化はどのようになっているのでしょうか。国際学研究科でも、平和を学べることができると思っているからです。	大学3年生
核兵器廃絶が具体化される保証はあるのか？単に議論や論文だけで、国際社会に影響を与えられるのだろうか？	大学3年生
平和について問がある場合には、意義があると思う。	大学2年生
広島に国際問題について多く学べる学科ができることはとても良いと思います。	大学2年生

学費が高いと思った。(平均的な院の費用を知らない)	大学2年生
認知度を上げる方がよいかも?	大学3年生
海外からの学生を多く受け入れて(日本語で)学ぶ企画を与えていただきたいと思いません。	その他
説明会の開催を広島大学や街中のどこでもかまわないので行っていただきたい。授業料と入学料をもう少し安くしてください。	大学3年生
養成する人材像は分かるが、2年の修士課程を経ても果たして就職に有利かどうか?が不明。	大学4年生
外国人留学生を積極的に取り入れ、中東の平和問題にも、目を向けていただければと思います。	その他
国際紛争などの問題に関心がある。	その他
広島という地だからこそできることも多いと思いますので、おもしろい研究科になればよいと思います。	その他
初めて知りました。どんなことをやってるのか気になりました。	大学4年生
日本人が海外で平和に関する活動を行うことができるように、というか今以上にできやすくする環境を整えられるような意見発信ができればいいのではないかと思った。	大学4年生
平和学研究科をもつ大学院は聞いたことがないので新奇性があると思う。	大学4年生
あまり聞いたことがない学問ですが、魅力的だと思います。	大学3年生
初めてききました。	大学1年生
がんばって下さい。	大学1年生
まだ1年生であるので、大学院進学について考えたことがないです。広島市立大学のこの研究科については初めて聞きました。	大学1年生
グローバルガバナンスであったり平和学を学べる国公立は少ないので意義があると思う。設立に賛成です。	大学3年生

〔参考：問1 職業等とのクロス集計〕

問2 現在あるいは将来の業務に関して、大学院修士課程で学修する必要性

		合計	必要性を感じる	少し必要性を感じる	必要性を感じない	わからない	不明
上段：人 下段：%							
問1 職業等	全体	689 100.0	106 15.4	198 28.7	221 32.1	164 23.8	- -
	大学1年生	184 100.0	19 10.3	49 26.6	50 27.2	66 35.9	- -
	大学2年生	189 100.0	29 15.3	56 29.6	59 31.2	45 23.8	- -
	大学3年生	192 100.0	23 12.0	58 30.2	78 40.6	33 17.2	- -
	大学4年生	100 100.0	24 24.0	26 26.0	32 32.0	18 18.0	- -
	メディア関係	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	NGO・NPO 職員	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	公務員	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -
	その他	20 100.0	10 50.0	6 30.0	2 10.0	2 10.0	- -

問3 大学院修士課程への進学への関心

		合計	関心がある	少し関心がある	関心はない	不明
上段：人 下段：%						
問1 職業等	全体	689 100.0	126 18.3	237 34.4	326 47.3	- -
	大学1年生	184 100.0	27 14.7	67 36.4	90 48.9	- -
	大学2年生	189 100.0	30 15.9	73 38.6	86 45.5	- -
	大学3年生	192 100.0	25 13.0	70 36.5	97 50.5	- -
	大学4年生	100 100.0	30 30.0	22 22.0	48 48.0	- -
	メディア関係	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
	NGO・NPO 職員	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -
	公務員	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -
	その他	20 100.0	13 65.0	3 15.0	4 20.0	- -

問4 広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程への関心

上段：人 下段：%		合計	関心がある	少し関心がある	関心はない	不明
問1 職業等	全体	689 100.0	33 4.8	197 28.6	456 66.2	3 0.4
	大学1年生	184 100.0	2 1.1	34 18.5	148 80.4	-
	大学2年生	189 100.0	7 3.7	67 35.4	113 59.8	2 1.1
	大学3年生	192 100.0	10 5.2	55 28.6	127 66.1	-
	大学4年生	100 100.0	6 6.0	32 32.0	62 62.0	-
	メディア関係	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	NGO・NPO 職員	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	公務員	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0
	その他	20 100.0	7 35.0	7 35.0	6 30.0	-

問5 広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程への入学

上段：人 下段：%		合計	入学したい	条件が整えば入学したい	関心はあるがわからない(今は判断できない)	入学を希望しない	不明
問1 職業等	全体	689 100.0	2 0.3	32 4.6	201 29.2	453 65.7	1 0.1
	大学1年生	184 100.0	1 0.5	3 1.6	37 20.1	143 77.7	-
	大学2年生	189 100.0	-	9 4.8	69 36.5	111 58.7	-
	大学3年生	192 100.0	-	17 8.9	53 27.6	122 63.5	-
	大学4年生	100 100.0	-	2 2.0	32 32.0	65 65.0	1 1.0
	メディア関係	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
	NGO・NPO 職員	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	公務員	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-
	その他	20 100.0	1 5.0	-	8 40.0	11 55.0	-

問6 入学したいと考える条件（複数回答）

		合計	学費の目 途が立 てば入 学し たい	仕事との 両立が でき れば入 学し たい	時間の確 保が でき れば入 学 したい	その他	不明
上段：人 下段：%							
問1 職業等	全体	32 100.0	16 50.0	13 40.6	13 40.6	1 3.1	2 6.3
	大学1年生	3 100.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	-	-
	大学2年生	9 100.0	5 55.6	2 22.2	3 33.3	-	1 11.1
	大学3年生	17 100.0	9 52.9	7 41.2	8 47.1	1 5.9	-
	大学4年生	2 100.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0
	メディア関係	-	-	-	-	-	-
	NGO・NPO 職員	-	-	-	-	-	-
	公務員	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-



## ② 事業所アンケート：社会人入学意向



## <平和学研究科入学意向>

事業所アンケートによる職員を対象とした新研究科への入学意向について、実数での回答は以下の通りである。

問5 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程への入学について、どのようにお考えですか。	実数
1 入学したい	0人
2 条件が整えば入学したい	5人
計	5人

[事業所ごとの結果] 回答のあった事業所 17 件

(単位：人)

	1 入学したい	2 条件が整えば 入学したい	計
全 体	-	5	5
7 株式会社 新日本海新聞社 広島支局	-	-	-
19 公益財団法人 ひろしま国際センター	-	1	1
20 公益財団法人 広島平和文化センター	-	-	-
22 呉市国際交流協会	-	-	-
23 ふくやま国際交流協会	-	1	1
24 一般財団法人 三次国際交流協会	-	2	2
25 しょうばら国際交流協会	-	-	-
27 廿日市市国際交流協会	-	1	1
28 特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会	-	-	-
30 海田町国際交流協会	-	-	-
31 独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 中国国際センター	-	-	-
36 特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima	-	-	-
39 ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト	-	-	-
45 平和のためのヒロシマ通訳者グループ	-	-	-
49 公益財団法人 中国地方総合研究センター	-	-	-
56 株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング	-	-	-
60 一般財団法人 国際開発センター	-	-	-



<アンケート調査票>







<アンケート集計結果>



事業所アンケート：社会人入学意向 回収表

回収日	ID	区分	事業No.	所 属
2. 19	61	1	7	株式会社 新日本海新聞社 広島支局
2. 27	181	2	19	公益財団法人 ひろしま国際センター
2. 27	190	2	19	公益財団法人 ひろしま国際センター
3. 07	191	2	20	公益財団法人 広島平和文化センター
3. 05	213	2	22	呉市国際交流協会
3. 06	218	2	22	呉市国際交流協会
2. 26	221	2	23	ふくやま国際交流協会
2. 26	222	2	23	ふくやま国際交流協会
2. 26	223	2	23	ふくやま国際交流協会
2. 26	224	2	23	ふくやま国際交流協会
3. 05	231	2	24	一般財団法人 三次国際交流協会
3. 05	232	2	24	一般財団法人 三次国際交流協会
3. 01	233	2	24	一般財団法人 三次国際交流協会
3. 05	234	2	24	一般財団法人 三次国際交流協会
3. 05	238	2	24	一般財団法人 三次国際交流協会
3. 12	240	2	24	一般財団法人 三次国際交流協会
2. 27	241	2	25	しょうばら国際交流協会
2. 27	242	2	25	しょうばら国際交流協会
2. 27	250	2	25	しょうばら国際交流協会
2. 26	261	2	27	廿日市市国際交流協会
2. 26	262	2	27	廿日市市国際交流協会
2. 26	263	2	27	廿日市市国際交流協会
2. 23	271	2	28	特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会
2. 19	275	2	28	特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会
2. 20	278	2	28	特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会
2. 20	279	2	28	特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会
3. 05	291	2	30	海田町国際交流協会
3. 05	292	2	30	海田町国際交流協会
3. 05	293	2	30	海田町国際交流協会
3. 05	294	2	30	海田町国際交流協会
3. 06	302	2	31	独立行政法人 国際協力機構(JICA) 中国国際センター
3. 05	351	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
3. 05	352	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
3. 05	353	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
3. 05	354	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
3. 05	355	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
3. 05	356	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
3. 05	357	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
2. 19	381	2	39	ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト
2. 26	442	2	45	平和のためのヒロシマ通訳者グループ
2. 23	443	2	45	平和のためのヒロシマ通訳者グループ
3. 05	445	2	45	平和のためのヒロシマ通訳者グループ
2. 21	446	2	45	平和のためのヒロシマ通訳者グループ
2. 22	450	2	45	平和のためのヒロシマ通訳者グループ
2. 19	481	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター

回収日	ID	区分	事業No.	所 属
2.20	482	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター
2.19	483	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター
2.19	484	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター
2.19	486	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター
2.19	488	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター
2.19	490	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター
2.16	551	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
2.16	552	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
2.26	553	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
3.01	554	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
2.16	555	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
2.19	556	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
3.02	557	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
2.21	593	4	60	一般財団法人 国際開発センター
計 17 件	59 人			

#### 回収状況

企業区分	人数	%
1 マスコミ関係企業	1	1.7
2 広島県内の国際交流団体	43	72.9
3 シンクタンク・コンサルタント	14	23.7
4 独立行政法人・非営利団体	1	1.7
N (%ベース)	59	100.0

回収日	回収数
2.16	3 人
2.19	10 人
2.20	3 人
2.21	2 人
2.22	1 人
2.23	2 人
2.26	9 人
2.27	5 人
3.01	2 人
3.02	1 人
3.05	17 人
3.06	2 人
3.07	1 人
3.12	1 人
計	59 人

事業所アンケート調査：社会人入学意向 集計表

〔有効回答票：59票〕

問1 あなたの職業等をお答えください。

	人数	%
1 メディア関係	1	1.7
2 NGO・NPO職員	6	10.2
3 公務員	20	33.9
4 その他	32	54.2
N (%^-ス)	59	100.0

(「4 その他」の回答)

公益財団職員	NPO パート	会社員
団体職員	主婦・ボランティア英語ガイド	開発コンサルタント
嘱託職員	無職	開発コンサルタント
嘱託職員	市民運動家(?)	コンサルタント
主婦	会社員、HIP 会員	開発コンサルタント
会社員	会社員	開発コンサルタント
NGO インターン	シンクタンク	開発コンサルタント
NGO インターン	シンクタンク	開発コンサルタント
無職	会社員	研究機関
会社役員		

問2 あなたは、現在従事している業務や将来従事したい業務に関して、大学院修士課程で学修する必要性を感じますか。

	人数	%
1 必要性を感じる	11	18.6
2 少し必要性を感じる	20	33.9
3 必要性を感じない	25	42.4
4 わからない	3	5.1
N (%^-ス)	59	100.0

問3 あなたは大学院修士課程への進学に関心がありますか。

	人数	%
1 関心がある	7	11.9
2 少し関心がある	22	37.3
3 関心はない	30	50.8
N (%ベース)	59	100.0

問4 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程に関心がありますか。

	人数	%
1 関心がある	5	8.5
2 少し関心がある	28	47.5
3 関心はない	26	44.1
N (%ベース)	59	100.0

問5 あなたは広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程への入学について、どのようにお考えですか。

	人数	%
1 入学したい	0	0.0
2 条件が整えば入学したい	5	8.5
3 関心はあるがわからない (今は判断できない)	21	35.6
4 入学を希望しない	33	55.9
N (%ベース)	59	100.0

問6 問5で「2 条件が整えば入学したい」と回答した方に伺います。それ以外の方は問7へお進みください。どのような条件が整えば入学したいとお考えですか。(複数回答可)

	人数	%
1 学費の目途が立てば入学したい	2	40.0
2 仕事との両立ができれば入学したい	4	80.0
3 時間の確保ができれば入学したい	4	80.0
4 その他	0	0.0
N (% <sup>^</sup> -s)	5	100.0

※ 複数回答のため、合計は100%にならない

問7 広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

広島の地にこの学問、研究機関は必要だと思う。ぜひ早期の設置を期待したいと思います。
広島大学との違いは？
平和都市である広島での、平和学の実施は、大変意義のあるものと思います。
広島市だからこそ、平和学についての研究課程が設置されたことは意義深く感じます。
平和学のイメージがつかめない。政治との関わりや個人の価値観をどの様に教科に取り入れるのか？原水協と原水禁との様に関わるのでしょうか？平和学って、いったい・・・？
平和学研究科が設置されるのは大変意義のある事だと思います。若い世代の人たちに活躍してほしいと思います。55歳男性の意見として。
現在46歳ですが、30歳代の頃は大学や大学院で学べたらおもしろいのではないかと考えていたが、現在はどちらかと言うと地域で実際に動くことの方にウェイトを置く心境になってきました。
具体的にどのようなことが学べる、社会に活かせるのか知りたい。学士とは異なりMasterには専門性や仕事とのつながりを重視する人が多いため、市大平和学修士を修了するとどのようなキャリアオプションがあるのか可視化できると良い。あと、すでに存在する市大の国際学修士とのちがいは何か？課程を分ける以上、きちんとした差別化すべきである。
どんなことが学べるのですか？また、卒業後の進路はどんな道がありますか？良い学びがあったとしても、その後働く道がないと、学生が行きにくいかもしれませんね。あと、通信教育もあると裾野が広がり、いいと思います。
広島でこういう学科ができることに賛成です。広島から発進できる人材を育てていただきたいと思います。
平和公園にて外国から訪れるみなさんに英語でガイドをしていますが、核の脅威の中、平和学研究科のできること、とても素晴らしいことと思います。平和学のスペシャリストの活躍を願います。
個人的には「平和学」という学問？が抽象的すぎて理解できない。軍事、安全保障、紛争に対する深い理解と研究を深めるべきだと思います。

観念的にしか理解できていない“平和”について分析的、法的等々客観的、論理的にアプローチする力を身に付けた人材を育成することは、社会にとって有益であり、必要なことだと思います。私の場合、興味の方が別の分野ですので、進む道が異なります。

教育インフラとして、社会人受入を積極的に行われるよう期待。

海外大学のようにカリキュラムの一環として実務研修機会があると、良いと思う。

理論だけではなく、他大学との交流、フィールドワーク、国際会議への出席、NPO・NGOとの連携など、実践的な活動を含めるとよいと思う。

平和構築は一つ一つのケースの背景や現状、事象をめぐる国際政治の力関係が異なるので、可能な限り現場での教育を心掛けると良いと思います。

### ③ 事業所アンケート：事業所採用意向



## <平和学研究科修了者採用意向>

事業所アンケートによる新研究科修了者の採用意向について、実数での回答は以下の通りである。

問4 貴事業所・貴団体では、 <u>広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程</u> を修了した人材の採用について、どのようにお考えですか。	実数
1 採用したい	1件
2 採用を検討したい	4件
計	5件

〔事業所ごとの結果〕 回答のあった事業所 11 件

(単位：件)

	1 採用したい	2 採用を 検討したい	計
全 体	1	4	5
1 株式会社 中国新聞社	-	1	1
7 株式会社 新日本海新聞社 広島支局	-	-	-
36 特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima	1	-	1
39 ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト	-	-	-
40 公益社団法人 青年海外協力協会 中国支部	-	1	1
48 特定非営利活動法人 ワールド・フレンドシップ・センター	-	-	-
49 公益財団法人 中国地方総合研究センター	-	-	-
51 一般財団法人 計量計画研究所	-	-	-
54 アイ・シー・ネット株式会社	-	1	1
56 株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング	-	1	1
60 一般財団法人 国際開発センター	-	-	-



<アンケート調査票>



## 広島市立大学大学院平和学研究科設置に関するアンケート調査

広島市立大学では、広島市の使命である核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて実践的なアイデアを発信し、さらなる学術的な貢献を果たすために、大学院に平和学研究科を設置する計画を進めています。

このアンケート調査は、採用担当者様から採用に関するご意見等をお聞きし、平和学研究科の設置の基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部に公表したり個人を特定することはありません。率直なご意見をお尋ねします。

- ・リーフレットをご覧になったうえで、お答えください。
- ・回答欄に、該当する番号を記入してください。
- ・「その他」の選択肢を選んだ場合は、( ) に具体的に記入してください。

【回答欄】

問1 貴事業所・貴団体の主な業種についてお答えください。

- |           |             |   |  |
|-----------|-------------|---|--|
| 1 マスコミ関係  | 4 地方公共団体    | ) |  |
| 2 シンクタンク  | 5 その他 (具体的に |   |  |
| 3 NPO・NGO |             |   |  |

問2 あなたは平和学の研究者・実務者の人材育成を目的とする大学院研究科の設置の必要性について、どのようにお考えですか。

- |           |             |            |         |  |
|-----------|-------------|------------|---------|--|
| 1 必要性を感じる | 2 少し必要性を感じる | 3 必要性を感じない | 4 わからない |  |
|-----------|-------------|------------|---------|--|

問3 貴事業所・貴団体では、広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程で養成する人材像について関心はありますか。それぞれ①から③についてお答えください。

※リーフレットの「養成する人材像」をご参照ください

① 平和創造に関する研究成果を発信できる人材

- |         |           |         |         |  |
|---------|-----------|---------|---------|--|
| 1 関心がある | 2 少し関心がある | 3 関心はない | 4 わからない |  |
|---------|-----------|---------|---------|--|

② 平和創造に関する国内外の国際公共政策を企画・立案できる人材、および平和行政を推進できる人材

- |         |           |         |         |  |
|---------|-----------|---------|---------|--|
| 1 関心がある | 2 少し関心がある | 3 関心はない | 4 わからない |  |
|---------|-----------|---------|---------|--|

③ 平和創造に関する分析視点・手だてを発信・提言できる人材

- |         |           |         |         |  |
|---------|-----------|---------|---------|--|
| 1 関心がある | 2 少し関心がある | 3 関心はない | 4 わからない |  |
|---------|-----------|---------|---------|--|

問4 貴事業所・貴団体では、広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程を修了した人材の採用について、どのようにお考えですか。

- |         |            |           |         |  |
|---------|------------|-----------|---------|--|
| 1 採用したい | 2 採用を検討したい | 3 採用は考えない | 4 わからない |  |
|---------|------------|-----------|---------|--|

問5 貴事業所・貴団体では、在職する職員を広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程に入学させることについて、どのようにお考えですか。

- |                  |                  |   |  |
|------------------|------------------|---|--|
| 1 ぜひ入学させたい       | 4 職員から希望があれば検討する | ) |  |
| 2 できれば入学させたい     | 5 わからない          |   |  |
| 3 職員から希望があれば認めたい | 6 その他 (具体的に      |   |  |

問6 広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

\*\*\* これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*



<アンケート集計結果>



事業所アンケート：事業所採用意向 回収表

回収日	区分	事業No.	所 属
3.01	1	1	株式会社 中国新聞社
2.19	1	7	株式会社 新日本海新聞社 広島支局
3.05	2	36	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
2.19	2	39	ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト
2.19	2	40	公益社団法人 青年海外協力協会 中国支部
3.05	2	48	特定非営利活動法人 ワールド・フレンドシップ・センター
2.19	3	49	公益財団法人 中国地方総合研究センター
3.05	3	51	一般財団法人 計量計画研究所
2.19	3	54	アイ・シー・ネット株式会社
2.19	3	56	株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング
2.16	4	60	一般財団法人 国際開発センター
計 11 件			

回収状況

企業区分	件数	%
1 マスコミ関係企業	2	18.2
2 広島県内の国際交流団体	4	36.4
3 シンクタンク・コンサルタント	4	36.4
4 独立行政法人・非営利団体	1	9.1
N (% <sup>^</sup> -ス)	11	100.0

回収日	回収数
2.16	1 件
2.19	6 件
3.01	1 件
3.05	3 件
計	11 件

事業所アンケート調査：事業所採用意向 集計表

〔有効回答票：11票〕

問1 貴事業所・貴団体の主な業種についてお答えください。

	件数	%
1 マスコミ関係	2	18.2
2 シンクタンク	2	18.2
3 NPO・NGO	3	27.3
4 地方公共団体	0	0.0
5 その他	4	36.4
N (%ベース)	11	100.0

〔「5 その他」の回答〕

公益社団法人青年海外協力協会	開発コンサルタント
一般財団法人	開発コンサルティング

問2 あなたは平和学の研究者・実務者の人材育成を目的とする大学院研究科の設置の必要性について、どのようにお考えですか。

	件数	%
1 必要性を感じる	7	63.6
2 少し必要性を感じる	4	36.4
3 必要性を感じない	0	0.0
4 わからない	0	0.0
N (%ベース)	11	100.0

問3 貴事業所・貴団体では、広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程で養成  
 する人材像について関心はありますか。それぞれ①から③についてお答えください。

① 平和創造に関する研究成果を発信できる人材

	件数	%
1 関心がある	2	18.2
2 少し関心がある	6	54.5
3 関心はない	2	18.2
4 わからない	1	9.1
N (% <sup>^</sup> -ス)	11	100.0

② 平和創造に関する国内外の国際公共政策を企画・立案できる人材、および平和行政を  
 推進できる人材

	件数	%
1 関心がある	5	45.5
2 少し関心がある	6	54.5
3 関心はない	0	0.0
4 わからない	0	0.0
N (% <sup>^</sup> -ス)	11	100.0

③ 平和創造に関する分析視点・手だてを発信・提言できる人材

	件数	%
1 関心がある	4	36.4
2 少し関心がある	6	54.5
3 関心はない	0	0.0
4 わからない	1	9.1
N (% <sup>^</sup> -ス)	11	100.0

問4 貴事業所・貴団体では、広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程を修了した人材の採用について、どのようにお考えですか。

	件数	%
1 採用したい	1	9.1
2 採用を検討したい	4	36.4
3 採用は考えない	2	18.2
4 わからない	4	36.4
N (%ベース)	11	100.0

問5 貴事業所・貴団体では、在職する職員を広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程に入学させることについて、どのようにお考えですか。

	件数	%
1 ぜひ入学させたい	0	0.0
2 できれば入学させたい	0	0.0
3 職員から希望があれば認めたい	1	9.1
4 職員から希望があれば検討する	6	54.5
5 わからない	2	18.2
6 その他	2	18.2
N (%ベース)	11	100.0

(「6 その他」の回答)

不可能
全員修士課程修了者のため

問6 広島市立大学大学院平和学研究科平和学専攻修士課程について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

逆に今までこの学科がなかったことが不思議に思います。早期の設置を期待しています。

国際的にきちんと発言できる人材育成を期待しています。

より世界の現場で働ける人材育成の為、国際関係論、国際協力論を行い、国際 NGO や協力隊 OB などの現場経験者を講師（一回）にまねいてはどうでしょうか。IDEC のように、協力隊参加や NGO 海外活動者（1 年～2 年）を単位と卒論作成に認めてはどうでしょう。一部の講義は英語？英語のパンフレットがあっても、平和芸術や国際協力など市立大らしさをだすとよいかと。

弊社の「平和構築」分野など、将来的に国際協力分野で活躍できる人材が育つことを願っています。

## 公立大学法人広島市立大学授業料等の減免に関する規程

平成22年4月1日

規程第74号

(趣旨)

第1条 この規程は、公立大学法人広島市立大学の入学検定料、入学料、授業料及び学位論文審査手数料の減免等に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において「広島市民」とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

- (1) 入学（編入学を含む。以下同じ。）の日の属する月の初日において引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (2) 入学の日の属する月の初日において配偶者又は1親等の親族が引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (3) 理事長が前2号に掲げる者に準ずると認める者

(入学検定料の免除)

第3条 広島市立大学（以下「本学」という。）の入学試験（編入学試験を含む。）を受けようとする広島市民であって、次の各号のいずれかに該当し、入学検定料の納付が著しく困難であると認められるものについては、入学検定料を免除することができる。

- (1) 生活保護法（昭和25年法律第144号）の規定による保護を受けている世帯に属する者
  - (2) 前号の世帯に準ずる程度に生活が困窮していると認められる世帯に属する者
- 2 入学検定料の減免を受けようとする者は、理事長の指定する日までに所定の入学検定料減免申請書を理事長に提出しなければならない。
- 3 理事長は、免除を許可し、又は免除を不許可としたときは、遅滞なく、申請者に対し、その旨を通知しなければならない。

(入学料の減免)

第4条 本学に学生として入学する者であって、次の各号のいずれかに該当し入学料の納付が著しく困難であると認められるものについては、入学料の全額又は半額を免除することができる。

- (1) 入学前1年以内において、学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- (2) 前号に準ずる場合であって、理事長が相当と認める場合
- 2 本学に学生として入学する広島市民であって、次の各号のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる者については、入学料の全額又は半額を免除することができる。
  - (1) 生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属する者
  - (2) 前号の世帯に準ずる程度に生活が困窮していると認められる世帯に属する者
- 3 入学料の減免を受けようとする者は、入学手続の際、所定の入学料減免申請書を理事長に提出しなければならない。
- 4 理事長は、前項の入学料減免申請書を受理したときは、減免を許可し、又は減免を不許可とするまでの間は入学料の徴収を猶予することとし、この旨を、減免の申請をした者（以下この条において「申請者」という。）に対し、通知するものとする。
- 5 申請者が前項に規定する徴収猶予期間内に死亡したときは、未納の入学料の全額を免除するものとする。
- 6 理事長は、減免を許可し、又は減免を不許可としたときは、遅滞なく、申請者に対し、その旨を通知しなければならない。
- 7 理事長は、免除を不許可とした者及び半額免除の許可をした者に係る入学料を前項の通知の日から起算して14日以内に徴収しなければならない。
- 8 免除を不許可とした者又は半額免除の許可をした者が、前項の徴収期限の到来前に死亡したとき又は入学料を納付しないことにより学籍を有しないこととなるときは、その者に係る未納の入学料の全額を免除するものとする。

（授業料の減免）

- 第5条 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生については、前期又は後期に係る授業料の全額、半額又は4分の1に相当する額を免除することができる。
- 2 死亡又は行方不明のため学生の学籍を除いたときは、当該学生に係る未納の授業料の全額を免除することができる。
  - 3 入学料又は授業料を納付しないことにより学籍を有しないこととなる者につい

ては、未納の授業料の全額を免除することができる。

- 4 第1項の規定により、前期又は後期に係る授業料の減免を受けようとする者は、当該期に係る授業料の納付期限前に、所定の授業料減免申請書を理事長に提出しなければならない。
- 5 理事長は、前項の授業料減免申請書を受理したときは、免除を許可し、又は免除を不許可とするまでの間は授業料の徴収を猶予することとし、この旨を、減免の申請をした者（以下この条において「申請者」という。）に対し、通知するものとする。
- 6 理事長は、免除を許可し、又は免除を不許可としたときは、遅滞なく、申請者に対し、その旨を通知しなければならない。
- 7 理事長は、免除を不許可とした者及び半額又は4分の1に相当する額の免除の許可をした者に係る授業料を前項の通知の日から起算して14日以内に徴収しなければならない。

第5条の2 広島市立大学派遣学生及び特別聴講学生に関する規程（平成22年公立大学法人広島市立大学規程92号）第10条ただし書に規定する派遣学生については、前期又は後期若しくは前期及び後期に係る授業料の全額に相当する額を免除することができる。

- 2 前項の免除手続については、別に定める。

（授業料の徴収猶予）

第6条 第5条第5項に定める場合を除くほか、次の各号のいずれかに該当すると認められる学生については、前期又は後期に係る授業料の徴収を猶予することができる。

- (1) 経済的理由により納付期限までに納付することが困難であり、かつ、学業優秀と認められた学生
- (2) 行方不明の学生
- (3) 本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた学生
- (4) 前3号に掲げるもののほか、やむを得ない事情があると認められる学生

- 2 前項の規定により、授業料の徴収の猶予を受けようとする者（前項第2号に掲げる者にあつては、学生に代わる者）は、前期又は後期に係る授業料の納付期限前に、所定の授業料徴収猶予申請書を理事長に提出しなければならない。

- 3 第5条第5項から第7項までの規定は、前項の授業料徴収猶予申請書を受理し

た場合について準用する。

(月割りによる納付)

第7条 特別の事情があると認められる学生については、授業料の月割りによる分納を許可することができる。

2 前項の場合において、納付すべき1月当たりの額は、授業料の年額の12分の1に相当する額とする。

3 前項の規定により授業料の月割分納の許可を受けている者に対し、その申請により退学を許可したときは、退学の日属する月の翌月以降に納付すべき未納の授業料の全額を免除することができる。

(その他の入学検定料等の免除)

第8条 前各条に規定するもののほか、次の各号に掲げる入学検定料、入学料又は授業料については、これを免除することができる。

(1) 本学を退学した日の翌日から起算して2年を経過する日(当該日が前期又は後期の末日に当たる場合は、その翌日)までに、退学前に所属していた学科又は専攻に再入学する者に係る入学検定料及び入学料

(2) 本学と学術交流協定を締結した海外の大学の推薦を得て本学大学院への入学を志願する者に係る入学検定料

(3) 国費外国人留学生に採用が決定された者に係る入学検定料、入学料及び授業料(ただし、国が負担しない場合に限る。)

(学位論文審査手数料の減免)

第9条 本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、学位論文の作成等に対する指導を受けた後退学した者が、再入学しないで退学したときから1年以内に学位論文を提出し、博士の学位の授与を申請するときは、学位論文審査手数料を免除することができる。

(委任)

第10条 この規程の施行について必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年12月26日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年7月1日から施行する。

## 広島市立大学長期履修学生規程

平成23年3月30日

規程第4号

(趣旨)

第1条 この規程は、広島市立大学大学院学則（平成22年公立大学法人広島市立大学学則第2号）第26条第2項の規定に基づき、長期履修学生に関し必要な事項を定めるものとする。

(申請資格)

第2条 長期履修学生として申請することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 社会人に特定した入試制度により入学した者
- (2) その他長期履修が必要となる特別な理由があると認められる者

(申請手続)

第3条 長期履修学生となることを希望する者は、入学年次の4月末（秋季入学者においては10月末）までに、次の書類を添えて学長に申請しなければならない。

- (1) 長期履修学生申請書（様式第1号）
- (2) その他必要と認められる書類

2 在学生在中途から長期履修学生となることを希望する場合は、2月末（秋季入学者においては8月末）までに、前項各号に規定する書類を添えて学長に申請しなければならない。ただし、最終年次（博士前期課程2年目、博士後期課程3年目）に在学する者は申請できないものとする。

(許可)

第4条 前条の申請に対しては、研究科委員会の議を経て、学長が許可する。

(長期履修期間)

第5条 長期履修学生として、修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修することを認められた期間（以下「長期履修期間」という。）は、研究科の課程に応じ次のとおり定める。なお、休学の期間は、長期履修期間に算入しない。

- (1) 博士前期課程  
入学時から3年又は4年
- (2) 博士後期課程

入学時から4年、5年又は6年

(延長及び短縮)

第6条 長期履修期間の延長又は短縮を希望する者は、当該延長又は短縮を希望する年度の前年度の2月1日から2月末(秋季入学者においては同年度の8月1日から8月末)までの間に長期履修期間変更申請書(様式第2号)及びその他必要と認められる書類を添えて学長に申請しなければならない。

2 前項の申請に対しては、研究科委員会の議を経て、学長が許可する。

3 第1項に定める延長及び短縮は、1回限りとする。

4 長期履修期間の最終年次に在学する者は、許可された長期履修期間の延長又は短縮を申請できないものとする。

(授業履修の指導)

第7条 指導教員は、長期履修学生の履修期間に応じて授業履修が計画的に行われるよう必要な指導を行うものとする。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、教務委員会の議を経て、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行し、平成24年4月以降に入学した者から適用する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。